
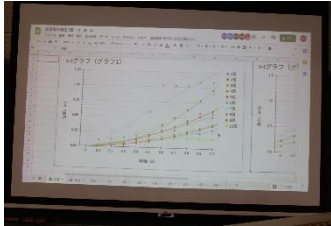


## 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名	岡山県立玉島高等学校		
実践者等	日笠 雄介	実践日	令和3年5月27日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	理科・物理基礎		
対象生徒 (学年等)	普通科1年		
単 元 名 (教科・科目の場合のみ)	加速度の測定 (斜面をすべり下りる物体の運動)		
使用したアプリ等	Classroom、スプレッドシート、Jamboard、Forms		
実践の概要 (ねらい等)	スプレッドシート上での実験データの入力 Jamboard を利用した授業の記録		
<b>実践の内容</b>			
<p>(1) 本時の目標の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Jamboard で授業プリントを提示しながら説明。</li> <li>○Jamboard は授業終了後 Classroom にアップし、板書記録として生徒に共有する。</li> </ul> <p>○事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラスを4人1班に分け、班ごとに実験データの入力を行うように指示する。</li> <li>・ 実験データを入力するためのスプレッドシートを Classroom にアップし、班ごとに実験データを同時入力する。</li> <li>・ スプレッドシートはあらかじめ実験データを入力することによって、グラフを表示できるようにしておき、リアルタイムで結果を反映することができる。</li> </ul> <p>また、他の班のデータと比較しながら考察することができる。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>(2) 本時の内容の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 斜面をすべり下りる物体の運動の様子を観察する。</li> <li>・ あらかじめ用意しておいた記録テープを生徒に配布する。 (本来は生徒に実験から行わせる予定であったが、コロナ対策のためこちらで用意した。)</li> <li>・ 記録テープの打点を0.1s間ごとに区切ってその長さを測り、スプレッドシートに入力する。</li> <li>・ 各0.1s間ごとの平均の速さを求めてスプレッドシートに入力する。</li> </ul> <div style="text-align: right;">  </div> <p>(3) 実験データを入力することによって得た、<math>x-t</math>グラフと<math>v-t</math>グラフを見て、斜面をすべり下りる物体の運動の規則性を考える。</p> <p>(4) Forms と Jamboard を用いて、授業の振り返りを行う。</p>			
参考となる HP 等			